

H29 アクションプランシート 事業 No.44

①事業の基礎情報

事業名	生涯現役のまちづくり事業				担当部・グループ名	福祉部 生涯現役まちづくりグループ					
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	磯村 和志					
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-9873(内線 80-156)					
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(11)一人ひとりの元気と健康づくりを応援します				予算・事業上の 予 算 書 上 の 事 業 名	款	介護特会 4款 地域支援事業費			
	こんなことに取り組みます	高齢者の閉じこもり予防、外出の機会となる居場所づくりと、担い手としての活躍の場を創出する生涯現役のまちづくりを進めます。					項	2項 一般介護予防事業費			
	みんなで目指すまちづくり	日常的に運動やスポーツを行っている人の割合					目	1目 一般介護予防事業費			
	指標名	現状値 35 実績値 35 実績値 41 実績値					事業名	4 生涯現役のまちづくり事業			
						総合戦略	■該当する □該当しない				
	現状値 (H25)	35	実績値 (H26)	35	実績値 (H27)	41	実績値 (H28)		目標値 (H29)	43	(単位) %

②事業の概要

P L A N	目的 (何をどうするために)	<p>★自宅に閉じこもりがちな高齢者が、自らの意思で出かけたくくなるような居場所（健康自生地）を街中に数多く創出することにより、仲間と一緒に街中へ出かける習慣をつくり、街中の健康自生地を巡ることにより、健康な毎日を送ることができるようにするため。</p> <p>★高齢者が、さまざまな活動に参加するだけでなく、その担い手として活躍することで、自分の生きがいを見つけ、日々の生活に張り合いを持てるようにするため。</p>									
	対象 (誰・何を対象に)	65 歳以上の高齢者								対象の数量	
		8,896 人									
	最終目標 (どのような状態を目指すのか 最終的に何がどうなれば達成か)	<p>☆行政（公共施設所管グループ）や地域（まちづくり協議会など）が、主体的に健康自生地を創出し、市内全域で高齢者が積極的に健康づくり活動に参加している。</p> <p>☆高齢者をはじめ多くの市民が、健康自生地の活動に参加するだけでなく、健康自生地の担い手として活躍している。</p>									
D O	平成 28 年度の 取組み	目標の達成に向けて、何を・どのように・どうした（内容）								いつ	
		①新たな健康自生地を創出した。								H28.4~9	
		②健康自生地が集まる「健康自生地フェスタ」を開催した。								H28.8	
		③でいでーるに健康自生地マップを掲載した。								H28.9	
④ホコタッチを使い、健康自生地へ出かけたくなる仕組みを考えた。								H28.4~9			
C H E C K	これまでの取組みから 見えてきた課題	<p>◇多くの高齢者の皆さんに健康自生地に出かけていただくためには、出かけたくなる情報や発信方法を検討する必要がある。健康自生地マップの作成や、モデルコースの紹介など、健康自生地へ出かけるきっかけとなるような情報を発信していく。</p>									
	今後の取組みの 方向性	<p>◇歩いて通える範囲に健康自生地がない方や、興味のある健康自生地が遠方にある方などでも、健康自生地に通えるような仕組みが必要である。いきいき号の活用や、地域・高齢者同士の支え合いなどによる移動手段を検討するとともに、健康自生地を巡るツアーを実施していく。</p>									
	備考										

基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう
------	----------------------------

③事業の工程表 / ④事業にかかる事業費概要

事業年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業計画	実行委員会によるモデルイベント検討 ☆ モデルイベントの実施 高齢者の移動手段の検討 スタンプラリーの実施 ◎ ◎ ◎ ◎ 「でいでーる」の刊行 健康自生地の活性化、創出、認定、審査	☆ 新しい総合事業移行 生涯現役のまちづくり実行委員会によるモデルイベント検討 課題の検討、見直し 高齢者の移動手段の検討・試験実施 スタンプラリーの実施 ◎ ◎ ◎ ◎ 「でいでーる」の刊行 健康自生地の活性化、創出、認定、審査	生涯現役のまちづくり実行委員会による検討 課題の検討 事業の見直し アンケートの実施 スタンプラリーの実施 ◎ ◎ ◎ ◎ 「でいでーる」の刊行 健康自生地の活性化、創出、認定、審査	生涯現役のまちづくり実行委員会による検討 課題の検討 事業の見直し スタンプラリーの実施 ◎ ◎ 「でいでーる」の刊行 健康自生地の活性化、創出、認定、審査	
	国立長寿医療研究センターとの協働による効果測定				
	平成 29 年度のアクション（平成 29 年度は何をするのか？）				
	いつまでに(期限)	課題の解決に向けて、何を・どのように・どうする(内容)			
	A C T I O N	H30.3 ①認知症予防に効果がある健康自生地の活動を情報発信し、外出や活動への参加を促す。 H30.3 ②健康自生地の担い手や利用者向けに実施したアンケート結果を基に、新たな取り組みや健康自生地の質の向上に向けた検討を行う。 参画・協働・情報共有の工夫 ★健康自生地の少ない高取・翼地区から生涯現役のまちづくり実行委員会へ参画していただき、新たな居場所や担い手の発掘を積極的に行う。 ★「でいでーる」の作成にあたっては、個々の健康自生地情報の発信にとどまらず、読みものとしても楽しく、出かけたくなるような特集を企画・掲載する。 ★「でいでーる」の編集にあたり、市民の方の声を拾いながら特集記事を検討することで、市民目線で必要とされている情報や、地域の方ならではの情報を発信する。 ★健康自生地の担い手や利用者の声を拾い、より効果的な取り組みへと改善する。 ★引き続き積極的に健康自生地へ足を運ぶことで、さまざまな情報を収集し、市民の皆さんへの発信や、健康自生地を応援する仕組みづくりに活かす。			

事業年度	平成 26 年度 (実績)	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (当初)	平成 29 年度 (当初)
事業費総額(千円)	2,948	3,017	9,256	10,850
財源内訳	一般財源	2,897	1,042	3,164
	特定財源			
	国・県支出金	—	1,131	3,437
	その他	51	844	2,655
補助事業・単独事業の別	単独事業	補助事業	補助事業	補助事業

⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料 306 千円 ・雇用保険料 23 千円 ・労災保険料 7 千円 ・臨時職員賃金 2,010 千円 ・消耗品費 261 千円 ・燃料費 39 千円 ・印刷製本費 97 千円 ・修繕料 13 千円 ・生涯現役のまちづくり推進業務委託料 216 千円 ・生涯現役のまちづくり支援業務委託料 7,452 千円 ・公共駐車場借上料 72 千円 ・健康自生地フェスタ備品借上料 54 千円 ・高齢者の居場所づくり活動費補助金 300 千円
特記事項 (実施期間を通じて)	